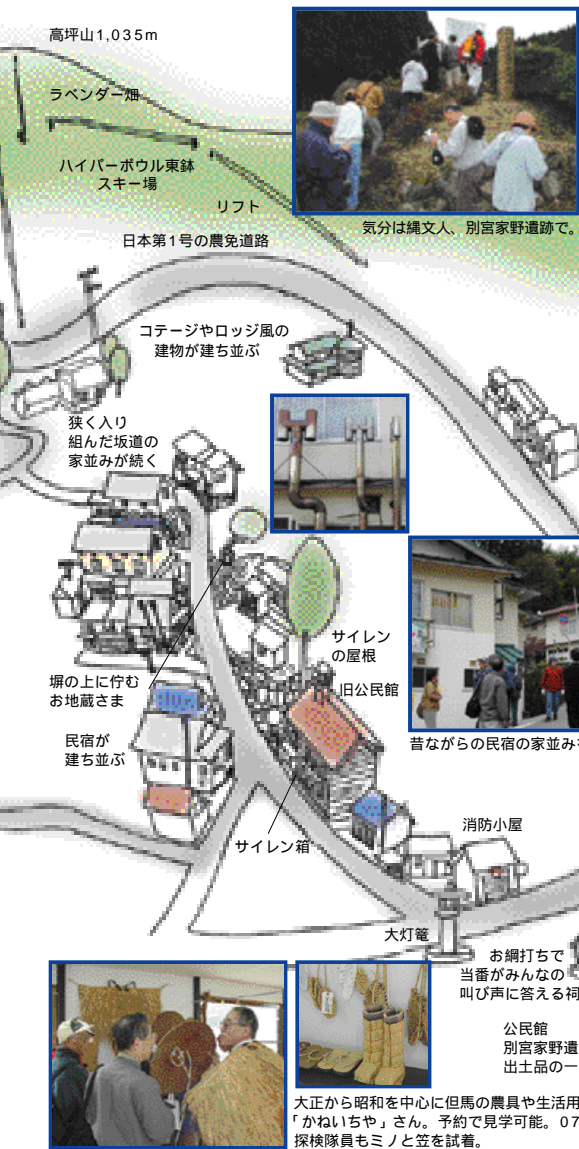


霊路地探険

東鉢伏・高原の山里「別宮」/ 関宮町

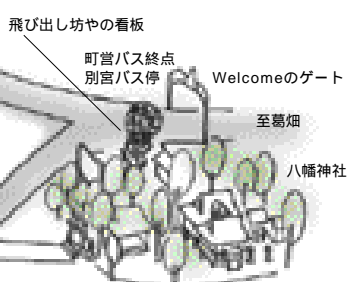
古代から人々が暮らし
山の心を守り伝えてきた
高原リゾートの村を歩く



東鉢伏高原・別宮 (関宮町)
鉢伏高原の東尾根南側に位置し、ハイパーボウル東鉢スキー場の名で親しまれている。グリーンシーズンは林間学校・スポーツ・音楽合宿と高原リゾート地として賑わう。集落は51戸、その内26軒が民宿・宿泊施設を営んでいる。また、兵庫県下最古の縄文遺跡も発見されている。



昔ながらの民宿の家並みを散策。



別宮の地名にも由来する八幡神社にお参り。勝負の神様ともいわれる。

ふもとから鉢伏高原の東尾根の
山道を登り、「Welcome Higashi
Hachibu」のアーケードをくぐる
と、山間の風景から、突如、民宿
やロッジ・モーティジが建ち並ぶ高原

リゾート村が出現する。氷ノ山・鉢伏山のふもとにいだかれた関宮町は、その地理と気候から6つのゲレンデを有する関西でも有数のスキー場・高原の町として知られている。その中であって、別宮「ハイパーボウル東鉢スキー場」は、林立する宿泊施設に一番近いスキー場、早くからスノーボードを全面解放し、ボーダーにも注目のゲレンデとして人気を集めている。

昭和初期からスキー場として開かれ、集落の中ほど、狭く入り組んだ急な坂道の両脇には、昔ながらの民宿が建ち並ぶ。一見、普通の民家にも見えるが、大きな家の構えに屋号を掲げ、建物の横や屋根からは「ヨキリ」と煙突が突き出す。看板が多いのも特徴、民宿を経営する家は一時期より減ってきているが、看板のデザインや色合いに、永年にわたって多くのスキーヤーを我が家に受け入れてきた月日を感じさせる。

一方、ロッジやモーティジが建ち並びリゾート村の景観を作りだしているのは、昭和44年、集落を迂回するように新設された、日本で第1号の農免道路沿いの一角、カソリン税などの課税の見返りに、農



漁協だから安心、新鮮トレレの海の幸

山陰但馬の海でとれる四季折々の海の幸が香住漁港にドッと水揚げされます。香住漁協直営の「遊魚館」はそんなトレレの海の幸を安心価格で販売。おみやげに、またご進物などに最適。漁協とご家庭を結ぶ「直行便」もご用意しております。ホームページも開設しましたご覧ください。

香住町漁協直営店
遊魚館
〒669-6543 兵庫県城崎郡香住町若松747
TEL.0796-36-4545 FAX.0796-36-1335
香住町漁業協同組合
TEL.0796-36-1331 FAX.0796-36-1305
ホームページ開設しました
<http://www.jf-net.ne.jp/hgkasumigyokyo>

業に役立つ助成として整備され、この道路の敷設によって、別宮の秘められた歴史が一つ明らかになりました。工事にあたって約9000年前の縄文遺跡が発見されたのだ。標高692メートルの丘の上に営まれた住居跡で、土器片や石鏃、石斧など約3000〜4000点が

出土し、大昔から人が住み、草や木の芽を摘み、木の実を集め、狩りをして暮らしていたと考えられている。兵庫県下最古の縄文遺跡で、県指定史跡となっている。別宮の歴史をたどると、地名は京都八幡市の石清水の分身を祀る別宮であることに由来し、かつては

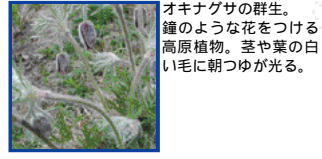
熊次地区の総氏神であったといわれている。また、古くから伝わる伝統行事としては、1月9日のお網打ちがある。早朝から男たちが大網を作り、村中が上と下地区に別れ網を引く。勝負は豊作になるという上地区が勝ち、網は村を一望する大きな2本のケヤキの木に結



大カツラの湧き水を湛えた棚田、谷向かいの残雪の氷ノ山が逆さに映し出される。



大カツラの下で一休み。1本の幹から大小100近くの幹が生えている。左巻きでメスの木といわれ、根本からは清水が湧き出している。



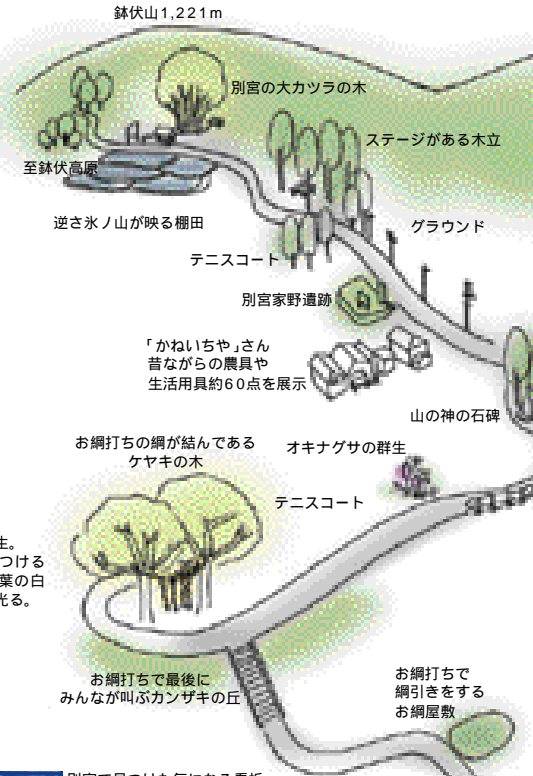
ケヤキの木に結びつけられた大網。籠を形取り、網の上には北を指す弓が掲げられている。



別宮で見つけた気になる看板。イラスト入りの屋号、ひょうごの民宿看板、旧公民館のサイン信号を現す看板、バス停の標識と同じサイズの飛び出し坊や、民宿に多い火気厳禁の看板。



案内をしていただいた別宮区長・西谷弘之さん。ロッヂ翠山荘を経営。地区で棚田オーナーなどに取り組む。



びつけられ、カリマタの田の方からくる悪魔を鎮めるとされる。最後はみんなで大神様へ向かって大声で叫ぶというものだ。古代から人々が住んでいた山間の里ではあるが、田畑は限られた山の斜面に切り開かれている。火山灰の黒い土、集落から少し離れた大カツラのふもとには、幾層にも連なつた棚田がひろがる。大カツラから湧き出る清水で満面の水を湛え、田植えの頃には、谷向かいの頂に雪を残す氷ノ山が映しだされる。現在、東鉢伏では、関宮deグリーンツーリズムをテーマに、棚田オーナー制や自然体験、遊ぶ、名所・旧跡をたどるプログラムに取り組んでいる。季節はグリーンシーズンへテニスコート、グラウンド、自然をステーションにスポーツや音楽の合宿、林間学校の若者たちを受け入れる準備も万全、高原には若葉が芽吹き、ランタンイ畑からは甘い香りがただよいはじめている頃だ。協力：関宮町・別宮のみなさん 裏路地探険隊員募集 8月25日(土)城崎町探険 文人たちが愛した城崎温泉の町並を歩く *実施日の10日前までに、18ヶ所掲載の2編 集部へ住所・氏名・年齢・電話番号・裏路地参加希望とお書きの上、八分キでお申し込みください。開催は午前中、現地集合、現地解散となります。申込締切日後、案内をご参加希望の方へ送付致します。

全室 海を望む やすらぎ設計

香住町立国民宿舎

ファミリーイン 今子浦

〒669-6541 兵庫県城崎郡香住町境548
TEL.0796-36-3553(代)
FAX.0796-36-3458
http://www.inaker.or.jp/ imagoura/

新鮮な 海の幸の宴

ブルーの海が ロケーション

リゾート ウェディング

山陰海岸国立公園

香住・今子浦

海が見える